



心ひとつに

美郷中学校
 学校報 NO.7
 R3. 5. 6

専門委員会…何のために？

4月30日（金）に、今年度1回目の専門委員会が開催され、専門委員長・副委員長さんのあいさつの後、前期の活動目標・活動計画等について話し合いました。

生徒会活動は「異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立てて役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む」活動を通して、「活動のために必要なこと・行動の仕方」「課題に気づき、解決のために話し合い、意見を一致させ、よりよい人間関係をつくること」「様々な人と一緒に、生活をよりよくしようとする事」などの勉強をする場です。ですから、専門委員会の活動は、本校で目指す生徒像「気づき、考え、行動する生徒」を育てるための活動とも言えます。自分の気づきを生かし、多くの人を巻き込みながら課題を解決し、よりよい生活を創り上げる経験を、是非、積み重ねてほしいと思います。その力は、将来、どこで働いても、どこで生活しても、必ず役立ちます。このチャンスを生かし、自主的に取り組んでみましょう！



【図書委員会の様子】



【生徒会執行部の様子】

むごい教育の話

戦国の世のお話として伝わっているものです。

竹千代（後の徳川家康）は小さい頃、今川家に人質として預けられていました。その時、今川義元は家来に「竹千代には、むごい教育をせよ！」と命じました。そう言われた家来は、竹千代に粗末な食事を与え、朝から晩まで休みなしに武術を教え込む生活をさせました。

それを聞いた義元は怒り、次のように言いました。「それではいけない。朝はゆっくり眠らせておき、食事は海や山の幸をたっぷり食べさせ、寝たいと言ったらいつでもいくらでも寝かせてあげよ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてあげよ。学問が嫌だというならやらせず、好きなように遊ばせておけ。」

それを聞いて不思議がる家来に義元は「むごい教育とは、竹千代を甘やかして骨抜きにし、将来

武士として役に立たない人にすることだ」と。

私たちの日々の生活の中にも、これに似たようなことがあるように思いますが…どうでしょうか？



気づき、考え、行動する生徒！

学校報の前号で、次のように掲載しました。

気づき、考え、行動する生徒

命に関わることです！

ヘルメットの「あごひも」を緩くしている人は…何のためにヘルメットをかぶっているんだろう？



これを読んで「気づき、考え、行動した生徒」がいれば、うれしく思います。

ヘルメットをかぶっていても、「あごひも」が緩すぎると、自動車に激しく追突された時など、そのはずみでヘルメットが脱げてしまいます。「命に危険がある非常時」に頭を守るためのヘルメットですから、「あごひも」が緩すぎるとかぶっている意味がありません。もちろん、あごに食い込むほど、強く閉めてかぶる必要はありませんが、「緩すぎるのは意味がない」というです。（あごの形によって緩める程度は異なります）

右のQRコードを読み取って、「あごひも」の大切さを確認してみてください。



【JAFユーザーテスト】

風薫る五月

5連休が終わりました。大きな事故やケガもなく、安全な生活を送ってくれたようで、とても、うれしく思っています。ありがとうございます。

5月に入りました。「風薫る」とは、「青葉の季節に、青々と茂った樹木の間を風が吹き抜けていく様子を表現する言葉」です。生徒の皆さんには、そんな「さわやかな南風のような美郷中生」であってほしいと願っているところです。

連休が終わり、1年生は部活動と勉強の両立が本格化します。まだ、中学校生活に不慣れな1年生を温かく見守り、導いてくれる上級生であってほしいものです。よろしくお祈りします。



気づき、考え、行動する生徒

アスリートの「あいさつ」がしっかりしているのは、なぜだろう？